

筑前町議会だより

うぐいす

わーい！たのしいな♪

2015.November
CHIKUZEN
GIKAI DAYORI

●編集発行

筑前町議会広報特別委員会
電話 0946-42-6622

もくじ

9月一般会計補正予算	P3
決算審査特別委員会	P6
ここが聞きたい 一般質問	P10
こんなこともやっています	P15

第40号

2015.11

年4回発行
5月・8月・11月・2月



9月定例会

9月3日から18日の16日間の日程で開催された。
9月定例会は、報告2件・議案8件・認定8件が提案され、
審議の結果、原案のとおり可決した。

報告第4号
平成26年度筑前町財政健全
化判断比率

- 実質赤字比率 なし
- 連結実質赤字比率 なし
- 実質公債費比率13.1%
- ※一般会計が負担する元利償還
および準元利償還の標準財政
規模に対する比率
- 将来負担比率101.3%
- ※地方債現在高などの将来負担
額の、標準財政規模に対する
割合

報告第5号
平成26年度筑前町公営企業
の資金不足比率

- 水道企業会計
- 公共下水道事業特別会計
- 農業集落排水事業特別会計
- 工業用地造成事業特別会計
の資金不足はない。

議案第34号
町道の路線認定

- 多目的運動公園園路の一部
- 企業誘致に伴う道路整備箇所

議案第35号
筑前町表彰条例の一部を改
正する条例の制定

表彰委員会の構成を見直した。
議会の常任委員長3人に代えて、
教育委員・農業委員・民生委員と
した。

議案第36号
筑前町個人情報保護条例の
全部を改正する条例の制定

「行政手続きにおける特定の個人
を識別するための番号の利用等
に関する法律」が施行されることなど
にともなうもの。

問
マイナンバーの通知カードの発
送予定は。

答
10月14日から11月末頃までに国
の委託機関である「J-LEIS」
から世帯ごとに簡易書留で世帯
主あてに送られてくる。

(住民課長)

議案第37号
筑前町手数料条例の一部を
改正する条例の制定

マイナンバー制度における個人番
号カードの再発行手数料1枚800円な
どを定めるもの。

議案第38号
平成27年度筑前町一般会計
補正予算(第2号)

問
中牟田小学校駐車場整備工事
で、特別な地盤改良をしなけれ
ばならないのでは。
現状をふまえ、この予算で大丈
夫だと考えている。

(教育課長)

議案第39号
平成27年度筑前町農業集排
水事業特別会計補正予算
(第1号)

汚水管渠工事費の増額など。

議案第40号
平成27年度筑前町工業用地
造成事業特別会計補正予算
(第1号)

企業誘致用地造成設計委託料など。

議案第41号
財産の取得

職員用パソコン90台の購入。

9月一般会計補正予算

9435万円を増額し、総額 125 億 4504 万円

9月補正予算の主なもの

増額補正

ふるさと応援寄附金推進事務

ふるさと納税のホームページをリニューアルし、受付・発送事務などを委託する。返礼品の種類を多くし、手続きを簡素化した。早くも効果が表れて、納税額がアップしている。

459万円



農産物直売所を拠点とした新たな地域ビジネスづくり事業

地方創生関連事業。交付金を活用して、特産品の加工所を建設するための委託設計料。

443万円

マイナンバー制度システム負担金

マイナンバー通知カードや番号カード関連事務の委託料。全額国庫補助金でまかなわれる。

1071万円

中牟田小学校駐車場整備事業

中牟田小学校駐車場の移転整備と学校の整備。

2905万円

企業誘致関連事業道路整備事業

四三嶋工業団地周辺事業。

796万円

議会の欠席理由に「出産」を追加



社会情勢を考慮して、議員が出産のため出席できないときは、日数を定めて、あらかじめ議長に欠席届を提出することができるようにする。

今まで欠席できる理由は事故のためであった。

【趣旨】

山本 一洋 議員

【賛成者】

栗野 光雄 議員

【提出者】

田中 政治 議員

可決

第6号

筑前町議会

「会議規則」の

一部を改正

傍聴席につえを持ち込みできる

※そのほか、禁止事項がありますので、ご協力をお願いします
・帽子を脱ぐ
・写真撮影や録音をしない
・傘を持ち込まない

社会情勢を考慮して、つえは持ち込みできるようにする。

【趣旨】

山本 一洋 議員

【賛成者】

栗野 光雄 議員

【提出者】

田中 政治 議員

可決

第7号

筑前町議会

「傍聴規則」の

一部を改正

議員視察研修



日程 平成27年8月5日～7日 3日間

視察地 ①島根県邑南町^{おおなんちょう}……「日本一の子育て村構想」「A級グルメ構想」
②鳥取県日南町^{にちなんまち}……「自ら考え動く自治組織」「農林業研修生制度」

参加者 議員16名



邑南町データ

- ・人口…11,382人
- ・世帯数…5,015世帯

日南町データ

- ・人口…5,126人
- ・世帯数…2,161世帯

※H27.8.1 現在

<8月5日>

広島平和記念公園・原爆ドームの視察を行った。翌日が平和記念式典ということで、会場の設営があっており、改めて核兵器の廃絶と恒久平和を誓った。

<8月6日>

島根県邑南町は、人口減少・少子化対策・若者の定住・高齢化の支え手を増やすため、「日本一の子育て村構想」が策定されている。その事業内容は、第2子目以降の保育料完全無料・保育所完全給食無料・学校図書室の充実・公立病院の運営・中学校卒業までの子ども医療費無料・地域おこし協力隊・定住促進支援員コーディネーターを配置するなど、先進的な事業を展開している。財源の過疎債を有効的にも活用している。

「A級グルメ構想」は、地産地消レストランで町内産の食材を活かした料理や食品開発を積極的に行い、食と農による攻めの取り組みがなされている。

<8月7日>

鳥取県日南町は、「組織的過疎の町」を合言葉に、住んで誇れるまちづくりを目指している。主に、自ら考え動く地域・自治組織、独り立ちまで繋げる農林業研修制度に取り組んでいる。

自治組織は、まちづくり協議会があり、地域でできることは地域の活力を活かしながら行うことを基本としている。本町でもモデル地区のほかに、あと数地区モデル地区を指定し、コミュニティ推進に取り組むべきだと改めて感じた。

農林業研修生制度は、財団法人エナジー日南に研修事業を委託し、廃校になった小学校を改築して定住促進施設を整備している。農地賃借料助成事業・就農条件整備事業・就農応援交付金など多数の補助制度がある。

今回の視察ではいろいろ参考になることも多く、有意義な研修であった。

今後は議会と行政、住民が一緒になって知恵を出し、汗を出し、力を出すことによって町の特徴を明確化し、さらに町内外へアピールしていかなければならないと、強く感じた。

研修委員長 山本一洋



献花が絶えない原爆死没者慰霊碑



地産地消レストラン「ajikura」(アジクラ)



地元木材を使用した日南町庁舎で研修した

各議員の賛否

平成27年9月定例会

区分	審議結果	議員名 議案名	深野	田口	横山	山本	奥村	木村	石丸	栗野	山本	川上	福本	梅田	一木	河内	田中
			良二	譲司	善美	一洋	忠義	博文	時次郎	光雄	久矢	康男	秀昭	美代子	哲美	直子	政浩
条例	可	筑前町表彰条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	可	筑前町個人情報保護条例の全部を改正する条例の制定	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
		(反対討論)河内:マイナンバー制度は、個人情報の流出が懸念されるので、導入すべきではない。 (賛成討論)田中:全国統一的な政策であるので、改正する必要がある。															
	可	筑前町手数料条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
補正予算	可	平成27年度筑前町一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
		(反対討論)河内:補正予算は賛成できる部分が多々あるが、マイナンバー制度導入と議場に国旗を掲揚する工事には反対。 (賛成討論)田中:公的施設に国旗を掲揚することは大切であり、議場に国旗を掲揚することは全員協議会で決定したことである。															
	可	平成27年度筑前町農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	可	平成27年度筑前町工業用地造成事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	可	町道の路線認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	可	財産の取得	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
決算	認定	平成26年度筑前町一般会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
		(反対討論)河内:部落解放同盟へ約670万円、西田地区まちづくり推進委員会へ5年間で毎年約300万円の補助金を交付しているため。 (賛成討論)山本一洋:補助金は、平成26年度予算審査特別委員会で慎重審議のうえ承認されたもの。															
	認定	平成26年度筑前町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
		(反対討論)河内:貧困と格差の拡大、社会保障の改悪による負担増、消費税の増税などによって国民生活は大変である。保険税の軽減を図るべき。 (賛成討論)木村:平成26年度予算審査特別委員会および補正予算上程時に賛成多数で可決し、その予算は適正に処理されている。															
	認定	平成26年度筑前町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
		(反対討論)河内:75歳というだけで医療差別をする後期高齢者医療制度は廃止し、元の老人医療制度に戻すべき。 (賛成討論)山本久矢:平成26年度予算審査特別委員会および補正予算上程時に賛成多数で可決し、その予算は適正に処理されている。															
	認定	平成26年度筑前町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○
		(反対討論)河内:徴収未済額は1億6745万円にもなっている。平成26年度は初めて法的措置を取っているが、早急な解決が必要である。 (賛成討論)栗野:債権回収については、弁護士に相談しながら民事調停を行うなど回収に努力している。															
	認定	平成26年度筑前町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定	平成26年度筑前町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定	平成26年度筑前町水道事業会計決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	認定	平成26年度筑前町工業用地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

議長 矢野 勉は、賛否同数以外採決に加わらない。○は賛成、●は反対、欠は欠席、退は退席

しよらんね？

議員の厳しい目が光ります

項目にわたった。その一部を掲載。

監査委員の意見



西依 雅 代表監査委員

一般会計および特別会計

平成26年度一般会計及び特別会計の歳入歳出決算並びに基金の運用状況審査の結果、適正に執行されており、非違な点も見受けられず、よく整理された決算は正確であることを認めた。

平成26年度も厳しい財政下にあつて多目的運動公園整備事業・防災行政無線の統合整備・町内全小中学校の空調導入・篠隈町営住宅第二期工事など大型整備事業を行った。

しかしながら、今後の財政は基幹収入である町税は現状では増収が大きく望めない状況にあり、さらに普通交付税は合併算定替の特例が縮減の方向にある。借入は償還の9割に抑制している。

自主財源の確保は基金の繰り入れに頼らなければならない状況にある。

このような厳しい状況の下、限られた財源の中で、事業の必要性、事

業の効果、緊急性を十分に検証し、健全財政の町づくりに向けて取り組まなければならない。

また、財政健全化判断に使用される実質公債費比率は平成25年度決算で13.6%（県内平均10.2%）、平成26年度13.1%と県内平均より高い状況にある。

しかし、合併特例債事業・上下水道事業などは返済のピークを迎えつつあり、安定した方向へ向かっている。

町税、国民健康保険税等の徴収も少しずつ改善されているが、不納欠損額はかなりの金額を計上している。

町営住宅使用料・上下水道使用料・保育料・住宅新築資金貸付金徴収は各課で努力されているが、地道な徴収努力は町の財政を守る基本的な仕事であると自覚してほしい。

公営企業会計

平成26年度筑前町水道事業会計は決算書及び付属書類とも法令に準拠して作成され、その計数は正確であることを認めた。

今年度は年間配水量に対して、有収水量は前年度に比べて12.5%アップして73.1%となっています。今後とも広報活動を通して、現在39.6%の普及率を上げることが望まれる。

こどもの未来のために

問 専門職のスクールソーシャルワーカーの人材確保について、任用期間の1～2年前に別の人材を確保し、複数で対応したらどうか。

答 人事部局とも十分協議したい。（教育課長）

※スクールソーシャルワーカーとは、子どもたちが日々の生活の中で出会ういろいろな困難を、子どもの側に立つて解決するためのサポートシステム。子ども・保護者・学校・関係機関を結ぶ役割を担う。

問 西部地区方面に保育所建設計画があるが、定員の確保は大丈夫か。

答 西部地区は、筑紫野市などの広域入所受け入れが難しい状況なので整備を進めている。（こども課長）

問 赤ちゃんの駅事業について、52か所の設置があるが、利用率アップの方策は。

答 現在44%くらいの利用状況。利用しやすいようにコンビニエンスストアなどを考えている。（こども課長）





ムダづかいを

平成26年度決算について

決算に対する議員の質問は155

※赤ちゃんの駅事業とは、町内の公共施設や民間施設に、授乳やおむつ交換の場所を提供できる施設として登録してもらい、赤ちゃん連れでも気軽に外出できるような環境づくりをする事業のこと。のぼり旗やステッカーが目印。

問 ファミリー・サポート・センター事業は、少子化対策・出生率の向上など、今後の地方創生のために必要な事業だが。

答 子育て支援は十分に考えることが必要。地方創生総合戦略会議の中でも様々に意見がある。前向きに検討する。
(町長)

※ファミリー・サポート・センター事業とは、多様化した保育ニーズに応えるため、「子育ての援助を受けたい人(依頼会員)」と「子育ての援助を行いたい人(援助会員)」をつなぐ事業のこと。依頼会員は事業説明を、援助会員は事業内容や子育て援助の知識を学ぶ講習を受ける必要がある。

問 学校給食への地場産農産物の納入状況を。

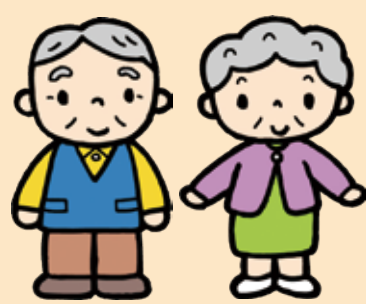
答 60%近い納入率。今後、増やす計画。
(農林商工課長)



人にやさしい福祉を

問 社会的な背景から高齢者・障がい者等の支援が必要な方が増える一方で、国の業務委譲もあり、窓口は著しく混乱している。業務体系等を精査して対応できないか。

答 福祉関係は、事業が増え複雑になっている。その分事務量も増えているので、現場を見て課長等と相談をし、人事担当とも話しながら対応する。高齢者対策と子育て支援の両立を、皆さんと一緒に知恵を絞って取り組んでいく。
(町長)



問 高齢者見守りネットワーク推進補助事業が、地域の自主的な体制整備への転換とあるが、時期尚早では。

答 地域によって温度差がある。27年度から斬新な取組みをされる地域は、補助金を延長する。
(福祉課長)

心と身体を健やかに

問 福岡県の基金による精神保健事業は、平成22年度から26年度までと聞いているが、社会状況・家庭環境等を考慮し事業継続の予定は。

答 福岡県からの基金事業は26年度で終了だが、今後は一般財源で継続する。
(健康課長)

問 家庭の飲み残り薬の対策が必要では。

答 朝倉薬剤師会と行政が合同で、残薬バッグの取組みを進めている。
(健康課長)

歴史を観光の目玉に

問 歴史民俗資料室を今後、魅力ある展示・資料室にするための方策は。

答 現在、具体的なものはまだない。公共施設検討委員会、もしくは歴史基本構想の中で議論していく。
(教育課長)



安心・安全なまちに

問 消防団の団員と機能別の団員の確保は。

答 団員確保は団と町で考えている。機能別団員は団と協議の上調査し、今後の検討課題とする。
(環境防災課長)

問 道路などの軽微な補修については、材料代を出して地域でのボランティア作業をお願いしたらどうか。

答 材料代等は適宜配布している。広範囲に検討する。
(建設課長)

問 夜須高原から冷水峠に抜ける道路が、崩落の心配で規制がかかっているが、改善を。

答 法面の点検は実施済み。町単独では費用の面から難しいので、補助事業でできないか検討する。
(建設課長)

きめ細かな窓口サービス

問 総合支所で行っている、木曜日の夜間窓口業務は縮小するのか。

答 総合支所に車で来庁される方がほとんどで、夜間窓口は本庁舎だけではいいという意見があるが、慎重に検討していく。
(住民課長)

まちの借金を減らせ

問 経常収支比率は93.7%と高い。今後の基本的な考え方は。

答 物件費、扶助費、補助費などが増している。物件費の委託料を減らして、今後縮小していく。
(財政課長)

住みたいまちに

問 町営住宅の建替・改修で、東小田、西田の他にも計画があるのか。

答 現在、計画なし。
(都市計画課長)



篠隈団地

問 違反広告物が2年前から6倍に増えているが、対策は。

答 県条例に基づいて対応しているが、条例の内容を精査して検討する。
(都市計画課長)

人生は学びの連続

問 各スポーツ少年団で、町内開催の大会に助成金を出せないか。

答 今の段階では答を出せないが、関係団体と今後の方向性について協議していく。
(生涯学習課長)

問 子ども会議は三輪校区だけ、探検隊は夜須校区だけだが、両校区でできないか。

答 現状では、運営的にそれぞれの地区で開催するのが、円滑に進むと判断している。
(生涯学習課長)

※子ども会議とは、野外体験活動や地域との交流など、子どもたちが自分たちで体験活動の計画・準備・実施をする取り組みのこと。



頼れる職員を育成せよ

問 行政評価制度を導入しているが、外部評価も導入したらどうか。

答 行政評価制度は、まだ十分に確立していない。外部評価導入は、今後の課題にする。
(総務課長)

農林業

問 特産振興と中村学園大学の連携事業で取り組まれた内容は。

答 今年は、食と健康に関する調査を行った。毎年、契約内容を変更して取り組んでいく。
(総務課長)



クロダマル枝豆の解禁日

問 農林業センサスを町はどう活用しているのか。

答 市町村要覧が作成され、各産業の実態・就労者数や人口動態を知ることができる。今後の具体的な施策に反映させる。
(町長)

問 農業振興地域整備計画で見直しの必要性とあるが。

答 農地法の改正に伴い国から県、県から指定都市への権限移譲の話もあるが、将来の課題。
(農林商工課長)

マイクロバスで課外授業

問 町が所有しているマイクロバスの運営はなくなるのか。

答 財政面等でいろいろ問題があるが、運営については研究していく。(財政課長)



国民健康保険事業特別会計

問 国民健康保険税が上がった。要因を、被保険者に十分に伝えて、収入未済を減らす努力が必要と思うが。

答 国民健康保険税の滞納は収納対策アドバイザー雇用等で対応していく。(健康課長)

後期高齢者医療特別会計

問 決算なのに還付金の返還が終わっていないが、どう対処するのか。

答 還付通知自体が2カ月程要す。その後に振込みをするが、振込口座の連絡を頂けない方が数カ月を要している。(健康課長)

住宅新築事業特別会計

問 弁護士費用が増額になっているが、内容は。

答 裁判の訴訟関係、抵当権関係の手続き等で増額になっている。(人権・同和対策室長)



公共下水道事業特別会計

問 不納欠損は住民の公平負担の原則に反するので、回収に努力して頂きたい。

答 不納欠損は、生活保護の受給開始になったとか、生活困窮により執行停止せざるを得ないのが現状。それ以外は、給与・預貯金・不動産等を差押えしている。(上下水道課長)

問 不納欠損を出さないために、どのような努力をしているか。

答 時効を一時中断させるために計画を立てて分納誓約書をとったり、差押えをしている。電話等による催告や、夜間訪問も行なっている。(上下水道課長)

問 施設維持管理費が多いが。

答 26年度は破砕機が壊れて緊急対応したので、千40万円程の差額がでている。(上下水道課長)



三輪中央浄化センター

農業集落排水事業特別会計

問 下水道使用料が従量制になった場合、どの様になるのか。

答 世帯員割の世帯と水道専用世帯とを試算して差が出ない様な形で今後検討していく。(上下水道課長)

水道事業会計

問 道路で水道管が漏水した場合、布設業者の瑕疵責任はあるのか。

答 道路上で漏水が発生した場合、業者の重大な瑕疵とみなし、10年を保証期限としている。(上下水道課長)



下水道マスコットキャラクター
スイスイ



9月定例会

ここが
聞きたい!

一般質問

町政を問う

9月議会では、9人の議員から16件の一般質問が行われ、町政全般について2日間にわたり活発な議論が展開されました。

なお、全文記録（会議録）については、筑前町ホームページに掲載しますので、ご覧ください。
(<http://www.town.chikuzen.fukuoka.jp/>)

※一般質問に関する記事は、質問者自身で作成しています。

情報収集し考えたい。

教育課長 奨学金制度そ

れぞれにガイドブックが

あり、作成することは考

えていないが、内容のわ

かりにくい点について

は、担当教諭と協議して

いく。また証明書発行に

ついては、他の自治体の

情報を収集し考えたい。

深野 保護者向けのチラ

シや筑前町独自の奨学金

ガイドブックを作成した

らどうか。また、高等学

校等就学支援金申請専用

の、証明書交付申請書を

作成したらどうか。

教育課長 奨学金・就学

支援金の手続きは、懇切

丁寧に説明するよう指導

している。

深野 高等学校等就学支

援金制度について、中学

校での周知は、保護者の

実態に応じた丁寧な指導

が必要。町の取り組みは。

教育課長 奨学金・就学

支援金の手続きは、懇切

丁寧に説明するよう指導

している。



深野良二 議員

支援金制度の周知は

わかりやすいガイドブックが必要だ

貸与されなかった

家庭への支援策は

新制度創設や

現制度の工夫を

高校等就学支援の充実を

現制度を継続し、

周知や支援をしていく



中学3年生 進路学習会

高校等就学支援の充実を

現制度を継続し、

周知や支援をしていく

貸与されなかった

家庭への支援策は

新制度創設や

現制度の工夫を

高校等就学支援の充実を

現制度を継続し、

周知や支援をしていく

現制度を継続し、

周知や支援をしていく

現制度を継続し、

周知や支援をしていく

現制度を継続し、

周知や支援をしていく

現制度を継続し、

周知や支援をしていく

現制度を継続し、

周知や支援をしていく



福本秀昭 議員

いじめ防止対策を積極的に取り組め

福本 昨年の議会において小中学校でのいじめ件数の報告を受けたが、いじめ防止対策は十分対応されているのか。その実態は。

教育課長 本町は過去に大変辛く悲しい経験をしており、二度と起こしてはならない。危機意識は教育委員会と学校現場で共有している。安心安全を根幹とする学校教育に与えるべき重要課題と捉えている。いじめ防止対策推進法に基づき、基本方針を踏まえ、組織的に対応するとともに、日常の教育活動で絆づくりに努めている。

福本 今年、岩手県においていじめによる自殺が発生した。いじめの根底には他人に対する思いやり、いたわりといった人権意識の希薄さがあり、命の大切さを一人ひとり

いじめの根絶を

最重要課題と捉えている



三輪中学校・夜須中学校

が考えた時に、いじめをしない・させない・見逃さない・許さない取り組みを平常時からチェックする必要がある。教職員の意識は高まっているのか。

教育課長 いじめ対策委員会を隔週で開催し、協議の結果を毎月の職員会議で諮っている。①集団づくり体験活動等のいじめを生まない教育活動の推進②定期的なアンケート調査や教育相談等による、いじめの早期発見に向けての取り組みの充実

③通報・相談体制や教職員の対応能力・育成研修等による早期対応と継続的指導の充実④大人が子どもの悩みや相談を受け止められる地域・家庭との積極的連携⑤警察・児童相談所・医療機関・法務局・こども未来センター等の密接な連携。以上のことを踏まえ教職員の意識を高めている。さらに大学教授・弁護士・警察・臨床心理士等の外部専門家による指導助言を仰ぎ危機意識の高揚に努めている。

みなみの里の管理運営と今後の対策は

川上 出荷者の高齢化が進んでいるが実態は。

農林商工課長 出荷者数379名。40代以下57名、50代56名、60代137名で平均年齢は62歳。

川上 平均年齢が62歳であれば安心した。出荷者増加対策の考えは。

農林商工課長 平成25年度までは、そつたく基金を活用してハウス施設等に補助。希望があれば今後検討する。

川上 みなみの里建設計画通り、利益率は確保されているのか。

農林商工課長 出荷者手数料は町内15%、町外17%。みなみの里は農業振興・雇用の確保ということで赤字を出さない程度で運営。レストラン49%、加工所58・8%の利益率で運営している。
川上 事業利益で黒字になるには、レストランと

加工所の拡大が重要。営業時間の延長と弁当の販売拡大の考えは。

農林商工課長 レストランは、従業員が早朝から夜遅くまで勤務している

ので手一杯の状況。弁当の販売は、定例会議等で指摘があったことを伝える。

川上 本町も捕獲獣（ジビエ）を有効活用した獣肉処理加工施設を整備し、みなみの里等で販売を。

町長 ジビエ対策については、添田町を視察したが町単独では採算ベース

に乗らない。有害鳥獣対策は必要と認識している。町内の事業者が取り組んであり、町としても広域的に取り組みができればと考える。

川上 福岡市内にアンテナショップ開設を。

町長 大手流通業者から出店依頼があったが、今の段階ではもつと体力が必要と考えている。福岡大都市を意識しながら、物事を展開することは極めて重要と考える。民生活等も含め、何か良い方策を研究していく必要がある。



活気あふれるみなみの里

アンテナショップ

開設が必要だ

極めて重要であり、研究していく



石丸時次郎 議員

食育推進の体制を万全に

石丸 各校の栄養士が廃止され、栄養教諭の2校兼務となつて、1年半が経過した。食育の推進に問題はないか。

教育長 各校では、栄養教諭と学級担任が指導計画を作成し、充実した食育の指導が行われており問題はない。

石丸 本町の学校給食は自校方式。その特性をどのように活かしているか。また、教育的効果は。

教育課長 自校方式となつたことで、適温で給食を提供できる。児童生徒には調理員の顔が見えることで、ふれあいやコミュニケーションが増え、食に対する感謝の気持ちが増え、食の残食率が低くなつた。また、地元農産物への認知度が高まり、地域の食文化に親しむ学習機会の推進が図られた。

子どもを真ん中に据えた議論を

児童生徒第一の教育行政に努める



食に感謝…。給食を楽しむ子どもたち

読書環境の充実と拡大を

石丸 活字離れが急速に進んでいる現状をどう捉えているか。また、対策は。

教育長 子どもの読書活動は、言語に関する能力を育み、感性を磨き、表現力を高めるなど、意義の深い活動であることから、朝の読書活動の奨励とともに、読書習慣を形成するため、教育活動全

体を通じ、言語環境の整備に努めている。

石丸 本年度から、学校図書司書が町の嘱託職員に替わつたことで、図書館の開館日数が大幅に減少した。子どもたちに、読書の機会を与えるという観点から検討を。また、学校教育活動について、子どもを中心に据えた議論がなされているのか。

教育長 これからも、子どもたちを大事にする教育行政に努める。

犬・猫の適正な飼養を

木村 ペット等の適正な管理の指導は。

環境防災課長 犬の放し飼いは無くなつたが、まだ糞の後始末が出来ていない場合がある。猫は、室内飼養等について、広報誌や防災無線で啓発している。

木村 動物愛護団体との連携が有効だ。

環境防災課長 7月に町内で動物愛護団体が立ち上がった。町としても可能な範囲で協力したい。

木村 町単独で条例を制定して取り組めないか。

環境防災課長 県条例に準拠し、保健所や動物愛護団体と連携する。

木村 避妊・去勢に対して補助金を。

環境防災課長 過剰繁殖を抑制する為に効果的な手段と聞いている。補助金の検討をしていく必要がある。

光ファイバー網の積極的活用を

木村 4億円もの予算を投入して、町の半分しか整備されてないが、計画に無理があつたのでは。

企画課長 三輪地区は既存の民間サービスがあつた。夜須地区は整備しないとのことで、町が整備した。補助金や合併特例債等を活用し、一般財源

は千800万円程度(4.7%)
木村 総合戦略等で空家バンクができた場合、利用者にはネット加入料を町が負担するとか、町内の空き店舗入居の際にネット費用を助成する等の取り組みで、有効活用ができないか。

企画課長 移住・定住対策でも有効と思われるので、今後、研究していく。



木村博文 議員

犬・猫の適正な飼養管理を

保健所や動物愛護団体と連携して取り組む



人の都合で僕たちの大事な命を奪わないで
ワンワン ニャーオ



山本一洋 議員

地域の活力を高める ための方策と、 町の支援体制は

山本 地域コミュニティ推進計画の進捗状況は。

企画課長 28年度2か所を総合計画の中に掲げており引き続き取り組む。

山本 実施計画の2か所設置に取り組むためには行政のやる気・姿勢・仕掛けが必要だが。

町長 自治区・行政区は根幹的な自治組織。その意向を十分尊重し、検討・検証しつつ進めたい。

山本 南部コミュニティの課題や検証をどのように活かすのか。

企画課長 継続していただける役員の熱意等で活動は活発になっている。地域コミュニティの必要性についての温度差が大きいことが課題で、当事者意識が重要。今後も支援する。

山本 3月議会で提案していた、地域おこし協力

自ら考え動く 地域コミュニティのあり方は

地域主導で行う

隊の導入は。

企画課長 28年度導入に向け準備を進めている。

町長 様々な課題解決には組織づくりが必要。その一環が協力隊でもあり地方創生の中でも議論を起こしたい。

山本 素早い対応でありがたい。地域と町を繋ぐパイプ役・コーディネーター役の地域担当職員配置の考えはないか。

町長 地域おこし協力隊を有効に活用しなければならぬが、町職員の配

置は現段階では厳しい。

山本 町の施設や自治公民館を活用して、子育て支援や青少年教育をすることで、居場所づくりや

集える場所ができ、コミュニティビジネスにつながり、生きがい作りになると思うが。

町長 同感であり、施設を有効活用する視点で見ても必要がある。

山本 地域が活性化し、人が輝くためにも、今後の町長の積極的な仕掛けに期待したい。



南部コミュニティ施設『少年大使館』

地方創生総合戦略は

梅田 地方創生に子育て支援は最重要である。「子ども・子育て支援事業計画」の見直し拡充は。

こども課長 計画の検証は、毎年子ども・子育て会議で行っていく。

梅田 三並小学校の児童数は。小規模校で子育てしたい女性が増加中。魅力発信で移住促進を。

教育課長 全生徒数77名。内1年生7名、3年生8名。

教育長 豊かな自然の中



三並小学校1年生の授業風景

でセカンドスクール、小規模校の良さを生かした少人数指導や、ICTを活用して先進的に学力向上に取り組んでいる情報を積極的に発信したい。

梅田 空き家になる以前に所有者の意向を調査し移住希望者等に斡旋する制度の考えは。

総務課長 県下統一判断基準モデルを協議中であり、これに従い基本方針や具体的取組を決める。

梅田 住民出資による太陽光住民共同事業等、地域の再生エネルギー資源

を事業化する考えは。

町長 地域での経済循環は今後重要な行政課題になると考える。

多目的運動公園 維持管理費の試算は

梅田 多目的運動公園の管理体制、維持管理費試算、利用者見込み数は。

都市計画課長 指定管理制度は選定や指定管理者とのリスク分担など厳しいものがある。管理人は来年度から2名常駐。維持管理費は年間約3千万円程度の見込み。利用者

予測は月1万5千人。

選挙権18歳の対応は

梅田 選挙管理委員会、中学校教育の取り組みは。

総務課長 本町で約600人が新有権者となる。家庭の教育も大切。国・県の啓発資料を活用する。

教育長 主権者教育の充実を図る必要がある。

三並小学校の魅力発信で 移住促進を

良さを積極的に発信する



河内直子 議員

部落解放同盟に対する補助金削減は

河内 任意団体に対する約670万円の補助金はあまりに多すぎると、これまでも削減を求めてきた。朝倉地区人権啓発情報センター設立後は、減額の方角で検討・協議するということだった。

人権・同和対策室長 平成26年6月と9月に交渉を行ったが、合意に至っていない。

町長 センターが開設されたので3市町村で連携を取って、削減・減額の交渉に臨みたい。

入学準備金の

早期支給を

河内 就学援助の入学準備金は、準備のためのお金であり、早期に支給するべきでは。

教育課長 4月以降の申請がほとんどであり、近隣自治体の状況もみながら参考にしたい。

同和行政の終結に向けての取り組みは

今までの施策を十分に検証しながら進めていく



夜須中学校の外階段

自衛隊員の

命を守れ

河内 町議会では6月定例会で安全保障関連法案の慎重審議を求める意見書を一人の反対を除いて可決した。自衛隊員の方々の命が危険にさらされようとしている今、恒久平和都市宣言の町・自衛隊通信所を抱える町として国に対し意見を上げるべきでは。

町長 意見書は、町の意志として国の機関等々に提出されたということであり、執行機関としても同じ気持ちである。

外階段に

屋根の設置を

河内 夜須中学校西側の外階段は、子ども達の健康上の面からも、屋根の設置が必要なのは。**教育課長** マスタープランの実施計画にも計上しており、緊急性・優先順位を加味し、順次整備していきたい。

歓迎看板で

町をPRすべき

一木 これまで山麓線の筑紫野市山家から筑前町へ入った辺りと、三輪地区の弥永辺りに、筑前町PR、歓迎など看板設置を求めているが。

企画課長 筑紫野市側は市との事前協議で一定の了解を得ており、今後県と協議。27年中に設置予定。

地方創生の

先進地に学ぶ

一木 8月、議員視察研修で島根県邑南町を訪問。私が6月議会で質問した3点では、子育て移住者用住宅の建設、町主催の縁結び婚活支援事業、商工観光課が窓口で無料職業紹介所を設置。活発な事業を展開されていた。改めて見解を。

町長 新たな視点でそういった政策を何か、今後考えていくことで、将来展望が開ける。



一木哲美 議員

難しい所は

早く着手を

一木 佐藤石油店前から国松産業までの間約200mと、俊丸家具店前から宮原タクシーまで約50mの間は、歩道帯が途切れて大変危険。やすらぎ荘入口交差点は、右折帯が4方向ともなく交通渋滞が発生。これまで議会で何度も要望してきた。早く交差点改良着手を。

建設課長 朝倉県土整備事務所の事業計画にはあがっていない。新規事業の着手は困難と続く。



途切れた危険な歩道帯

一木 全く新規でなく前から要望を強くお願いしている。交差点改良・歩道帯設置は、筑前町の中心な場所、町がしっかりと腰を入れて、積極的に県土整備事務所へ強く訴えないとなかなか難しい。難しい所は早く着手し、町がある程度やっつけなければならぬ。

町長 ちょっと小休止の状況であつたがしっかりと検討をお願いする。丸投げでなく検討、取り組む。

どうなっている途切れた歩道帯と交差点改良

検討、取り組む

～こんなこともやっています～ 議会活動



8月24日(月) 商工会との意見交換会

商工会の前田会長をはじめ、役員の方々と議員で意見交換会を行った。地方創生に向けた空家対策・定住人口および交流人口の増加・観光資源の活用・プレミアム商品券などの意見や質問に回答し、これからの商工業発展について討議した。

8月31日(月) 東峰村議会議員視察研修

東峰村議会議員10名が来町された。みなみの里・大刀洗平和記念館・多目的運動公園を矢野議長と田中副議長が案内した。「同じ朝倉郡内ではあるが、筑前町のことをよく知らなかった。筑前町にはすばらしい施設が多い。」と東峰村議員。来年は、筑前町議員が東峰村の施設や文化を学び、お互いの良さを再発見したい。



みなみの里の農村レストラン



10月9日(金) 朝倉市郡議会議員研修会

福岡県企画・地域振興総合政策課の米倉秀之課長を講師に迎え、「福岡県における地方創生の取組状況について」の研修を朝倉市甘木地域センター(フレアス甘木)で開催した。来賓として、林県議と栗原県議をお招きした。朝倉市郡の合同研修会は初めての試みだったが、とても好評だった。

～ようこそ筑前町へ～ 議員視察

自分の町をよくするためには、先進地に学ぶのが一番。ということで、筑前町のいいところを学ぶために、福岡県内外からたくさんの議員が視察されています。

年月日	視察目的	来庁者	人数
H27. 8. 4	議会基本条例、議会活性化の取り組み	石川県河北郡津幡町議会運営委員会	9

傍聴 をしての感想

初めて傍聴して、町でいろいろな問題があり、活発な意見が出て考えさせられました。

大変、勉強になりました。
(S・Hさん)

議会だよりはいつも読んでいますが、傍聴したのは初めてです。一般質問は、紙面を読むよりも、直接耳で聞いたほうが、議員の思いが伝わってよくわかりました。
(K・Hさん)

9月定例会の傍聴者数は30人でした。傍聴はどなたでもできます。多くの傍聴をお待ちしています。

傍聴へ
どうぞ!

平成27年 12月定例会(予定)

●開会

12月 3日(木) 10:00~

●一般質問

12月 8日(火) 10:00~
~10日(木) //

●閉会

12月14日(月) 14:00~

※会期予定は11月19日の議会運営委員会で確定のため、変更する場合があります。

vol.10 街角 TOPICS

多目的運動公園 (下高場)

みんなの憩いの場



ついに多目的運動公園が一部オープンした。仕事の通勤中に工事現場を見ていたが、あんなにきれいで立派な公園が完成するとは思ってもよらなかった。

先日も家族と友人で多目的運動公園に遊びに行った。

公園の遊具を見てみると、「うぐいすタワー」と書かれていた。うぐいすは鳴き始める季節が早春であり、別名は春告鳥とも言われている。子どもたちがはしゃいで楽しく

遊ぶ姿を見て、心が暖かく、春を感じさせられた。幸せな時間だった。よほど楽しかったのか、子どもが帰りに、「パパまた来ようね」と約束させられて帰宅した。

しばらくして、忘れ物を取りに行くと、昼間とは違う夜景の公園も神秘的で美しかった。

すばらしい多目的運動公園。これからも、きれいでみんなが憩うことができる公園であってほしい。
(Y・I)



夜景がきれいな多目的運動公園

編集後記

筑前町も実りの秋となり、黄色に輝く稲の刈り取り作業が終わりでした。長雨・日照不足・台風襲来で、作柄はどうでしょうか。

近年は、火山爆発・地震・トンでもない台風と驚くばかり。人間の驕る様でしょうか。天地の神様の、安息を祈ります。私たちは、生かされているんです。

「空去来」。教訓を学び、より良い社会づくりに邁進していきましょう。
(田口 譲司)



発行責任者

議長 矢野 勉

議会広報特別委員会

委員長 木村 博文
副委員長 山本 久矢

委員 深野 良二

委員 田口 譲司

委員 横山 善美

委員 奥村 忠義